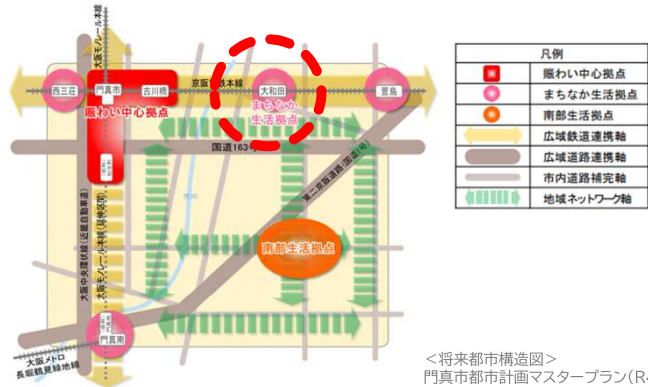


1 大和田駅の位置付けと基本構想策定の目的

京阪大和田駅周辺は、通勤・通学の利便性が高く、商業機能も集積し、門真市都市計画マスタープランにおいて、鉄道駅周辺のまちなか生活を支える「まちなか生活拠点」として位置付けられています。

また門真市立地適正化計画では、大和田駅周辺は、「世代間交流を支えるコミュニティ機能」を誘導する都市機能誘導区域に設定されています。

そこで、南北の駅前広場及び駅前の事業用地（銀行跡地）を活かし、地域に愛される大和田駅周辺とするため、大和田駅周辺及び駅前広場の将来の方向性を「門真市大和田駅前広場基本構想」として策定しました。



2 大和田駅周辺の現状と課題

住民や利用者特性

- ◆駅周辺の人口密度が高い。
- ◆駅周辺はマンションや戸建て住宅が多く、また、高齢化も進行している。
- ◆通勤・通学で多くの住民が利用し、特に北側は近隣に通学する学生の利用が多い。



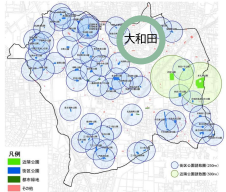
公共交通・道路交通

- ◆鉄道及びバス、タクシーによって、市内外の交通結節機能を担っている。
- ◆歩車分離された安全な歩行環境が整っていない箇所が存在する。
- ◆駅前のロータリーはスペースや滞留空間など利便性の面で改善点がある。



土地利用・都市機能

- ◆駅構内、駅南北に多くの商業店舗が集積する。
- ◆駅周辺は、市内でも公園・緑地やオープンスペース等が比較的少ない。



ワークショップ等による住民意見の聴取

- ◆交通便利性・生活利便性ともに高い。
- ◆イベントが定期的に開催されている。
- ◆駅の南北の行き来がしづらく、まちが分断されている。
- ◆くつろげる空間や緑が少ない。



3 駅前広場のコンセプト

門真市の上位計画や大和田駅周辺の現状を踏まえて、大和田駅前広場づくりの基本方針として、4つの柱を定めました。

大和田駅周辺の課題

駅南北でのまちの分断

駅周辺には歴史資源等の多様な魅力があり、利用者も様々です。上位計画では「まちなか生活拠点」として位置付けられている一方で、地元意向では、駅南北でまちが分断されているという意見も見られ、**まちをつなげ一体となった駅前広場の空間づくり**が求められています。

交通安全性・利便性の低い駅前ロータリーや周辺道路

交通手段が充実し、利便性が高い一方で、駅前のロータリーや道路は、安全性・利便性の面で改善の余地があります。また地元意向でも特に道路については狭隘で歩行者、自動車ともに通行しづらく、危ないという意見も見られ、**駅周辺の交通安全性・利便性の向上**が求められます。

駅前の滞留・交流空間の不足

駅前では、商店街や自治会などによる活気あるイベントなどが開催されています。一方で日常的に駅前に滞留できる空間が少ないです。また地元意向でも多世代が過ごす空間が少ないという意見も見られ、**日常・非日常どちらも活用できる滞留・交流空間の整備**が求められます。

駅前広場整備のコンセプト

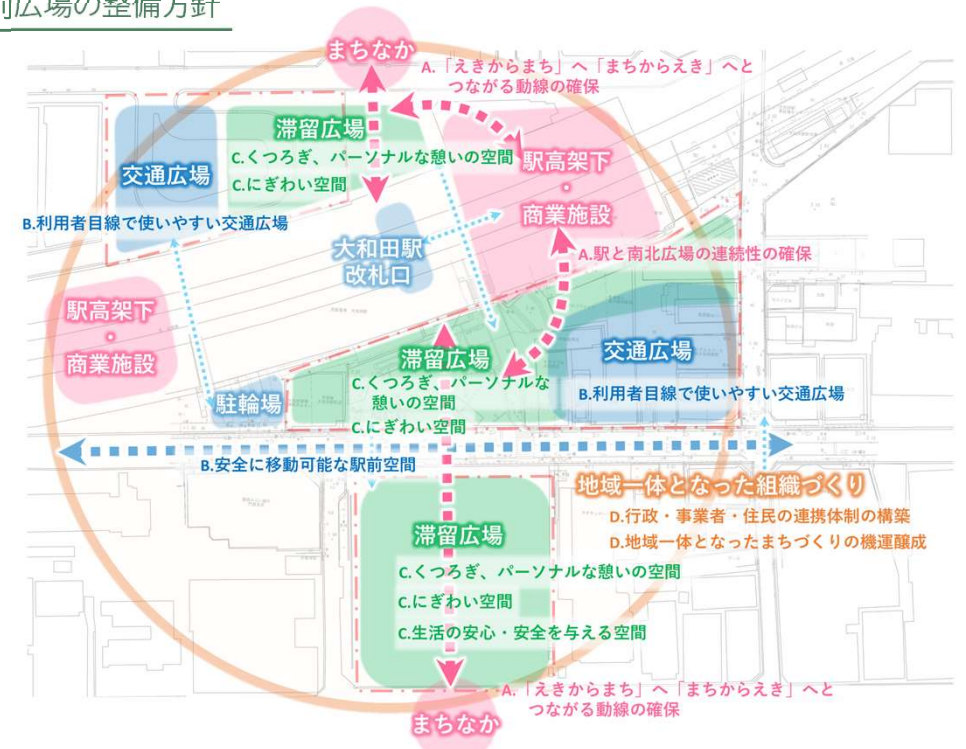
空間形成

- A. えきとまちが一体となった仕掛けづくり
- B. 安全で快適な交通結節点の整備
- C. どんな場面でも人が集い、活躍する滞留空間の整備

管理運営

- D. 公民連携による持続可能な管理運営体制の構築

4 駅前広場の整備方針



A. えきとまちが一体となった仕掛けづくり

- ✓ 「えきからまち」へ、「まちからえき」へとつながる動線の確保
 - ◆ まちへ人を誘導する駅前広場内の動線の整備
 - ◆ 駅前広場と併せた周辺道路の改修



つながるえきとまちのイメージ
資料：国土交通省「駅まちデザインの手引き」



まちへ人を誘導する駅前広場内の動線の整備
資料：国土交通省「駅まち再構築 事例集」

- ✓ 駅と南北広場の連続性の確保

- ◆ 駅南北広場を行き来しやすい動線の検討
- ◆ 駅前広場全体でのデザインなどの統一

B. 安全で快適な交通結節点の整備

- ✓ 利用者目線で使いやすい交通広場

- ◆ 交通機能の再編による、適切な交通機能の配置
- ◆ 交通やひとの活動の変化するニーズに応じた柔軟な空間の使い方
- ◆ 誰もが円滑な乗り換えが可能なバリアフリー環境
- ◆ 交通広場に隣接した快適な待合空間



バリアフリー環境の整備
資料：国土交通省「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」



歩道と同じ舗装として減速を促す車道
資料：国土交通省「生活道路の交通安全対策ポータル」

- ✓ 安全に移動可能な駅前空間

- ◆ 歩行者、自転車、自動車それぞれの安全に配慮した横断歩道再編等の検討

C. どんな場面でも人が集い、活躍する滞留空間の整備

- ✓ くつろぎ、パーソナルな憩いの空間

- ◆ 日常的に人が集まる広場空間の形成
(芝生広場、緑豊かな植栽、雨天時でも活動可能な大屋根、等)
- ◆ それぞれが思い思いの時間を過ごすことのできる設備の導入
(ベンチ、テーブル、健康遊具、等)



芝生など遊びくつろげる広場
資料：国土交通省「良好な道路景観と賑わい創出のための事例集」

- ✓ にぎわい空間

- ◆ 子どもの心身の成長を促す機能の整備(遊具、等)
- ◆ イベント時のにぎわい創出に資する機能の導入
(電源設備等のインフラ設備、ステージ、等)
- ◆ まちのシンボルとなる広場(モニュメント、等)



にぎわいの場にもなる広場
撮影：佐賀市駅前広場

- ✓ 生活の安心・安全を与える広場

- ◆ 防災機能の導入
(防災トイレ、災害時に利用可能な照明灯、かまどベンチ、備蓄倉庫、等)
- ◆ 防犯機能の導入(交番、防犯カメラ、等)

D. 公民連携による持続可能な管理運営体制の構築

- ✓ 行政・事業者・住民の連携体制の構築

- ◆ 市と地域(事業者、自治会等)が連携した広場の維持管理・運営のあり方の検討



市と地域が連携した広場運営

- ✓ 地域一体となったまちづくりの機運醸成

- ◆ 地域と連携した社会実験等による広場の活用検証と活動の波及促進



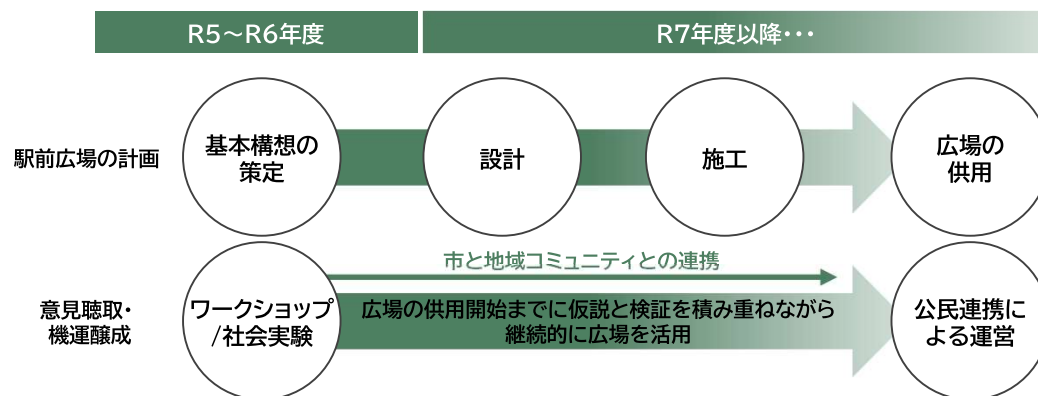
社会実験等による広場活用検証
撮影：チャレンジ大和田(R6年度)

～将来イメージ～



※イラストはあくまでイメージであり、今後詳細な検討を進めていきます。

5 基本構想実現に向けて



～取組の紹介～

大和田駅前広場ワークショップ



ワークショップの様子

大和田駅の駅前空間を活用した、地域の顔として魅力的な広場づくりに取り組んでおり、普段から駅周辺を利用する方々と一緒に、広場づくりについて話し合うため、「大和田駅前広場づくりワークショップ」を全3回開催しました。

社会実験の開催(チャレンジ大和田)



当日の様子(ラジオ体操)



当日の様子(ハイハイレース)

大和田駅をどのように魅力的にしていけるか、地域の人々が「まちづくりを考えるきっかけ」となることを目的とした社会実験を行いました。企画や出店、出演など、大和田駅周辺に関わる様々な関係者の皆さまに準備段階から関わっていただきました。